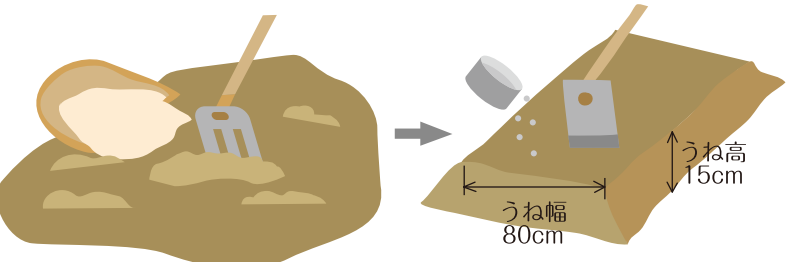




1 苗の選び方

土作り
植え付けの14日前までに「良菜健穂」、「大地」、「コフナ」をまいて深く耕し土作りを行う。

元肥・うね立て・マルチ張り
植え付けの1週間前までに元肥の「有機盛々」をまいて、うね立てをします。



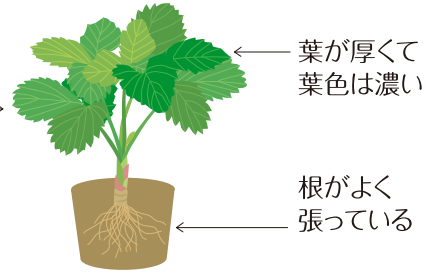
土作り
良菜健穂:10坪当たり 2kg
大地:10坪当たり 3~5kg
コフナ:10坪あたり 3~5kg

元肥
有機盛々:10坪当たり2kg

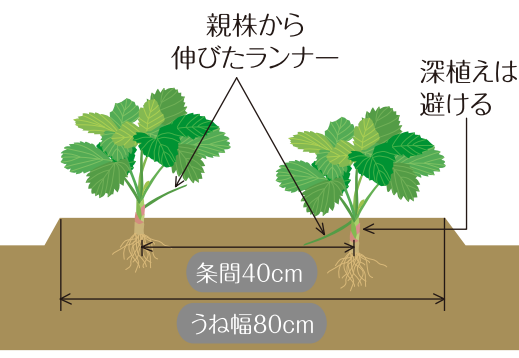
水はけの悪い場所では30cm位の
高うねにします。

2 苗の選び方・植え付け

苗の選び方
病斑などがついていない
葉が厚くて葉色は濃い
根がよく張っている

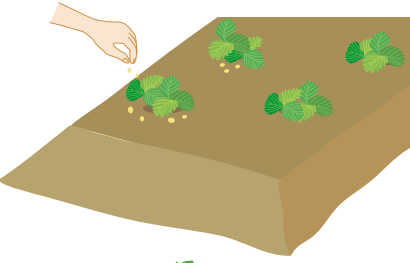


苗の選び方
植え付けは株元についているランナー（親株から伸びたつる）の跡を、うねの内側に向けて植えると、花が反対側についてくるので、管理がしやすいです。植え付け後は、十分に水を与えます。

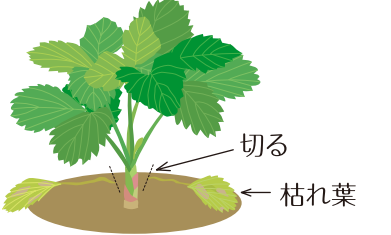


3 追肥

追肥
追肥は、植え付け約1ヵ月後に「千代田550」を1株あたりひとつまみまきます。

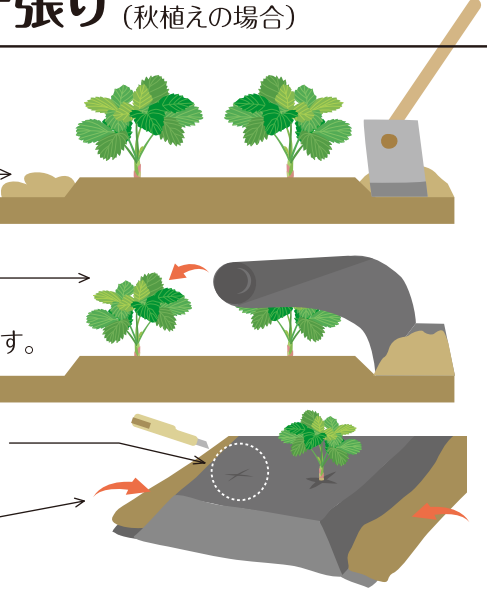


秋植えの場合、冬の間の下のほうの枯れた葉や傷んだ葉を、小まめに取り除きます。伸びるわき葉は、花をつけることもあるのでそのままにします。



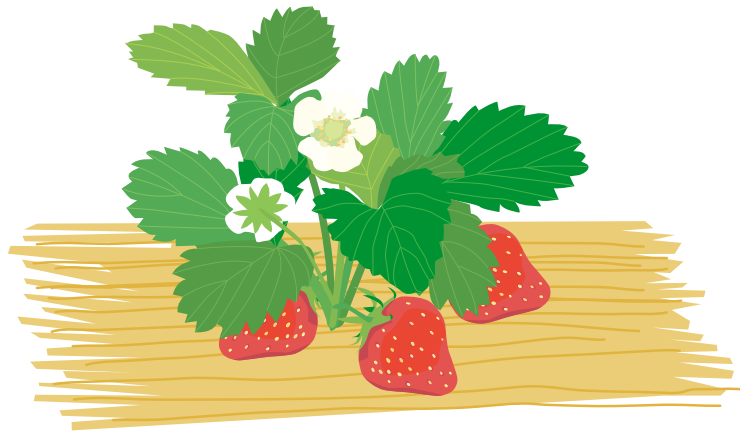
4 マルチ張り (秋植えの場合)

肩の土を削ります。
3月頃に雑草の発生と果実の汚れを防ぐ為、黒マルチを張っておきます。
株の植えを切り開いて、葉や茎を引き出します。
削った土でマルチを抑えます。



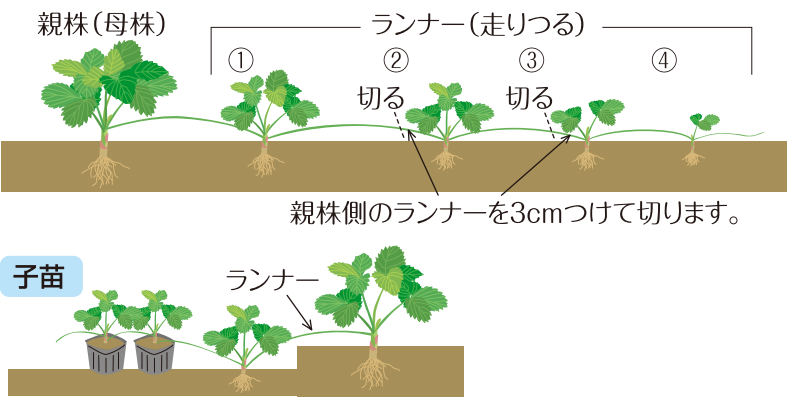
5 収穫

実が成りはじめたらネットなどで鳥の食害対策をします。果実が真っ赤に熟したものを収穫していきます。



6 苗の取り方

子株を株分けし苗を確保する為、親株より伸びるランナーを利用します。
ランナーから出た2番、3番目の苗を使う。
親株(母株) ランナー(走りつる)
① ② ③ ④
切る 切る
親株側のランナーを3cmつけて切ります。
子苗 ランナー
ランナーを付けたまま鉢上げし育苗する方法もあります。



月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
中間地					🍓					🌱		
暖地				🍓						🌱		
寒冷地						🍓			🌱			

🌱 種まき期
🌱 植えつけ期
🍓 収穫期

土いじり応援プロジェクト



無断転載禁止